

環境報告書2007

札幌大同印刷株式会社

札幌大同印刷株式会社「環境報告書 2007」

■ 本報告書に関するお問い合わせ

札幌大同印刷株式会社 企画室dio 環境管理事務局
TEL 011-562-1270 FAX 011-562-1280
ホームページ <http://www.dioce.co.jp/daido/>

■ 本報告書の仕様

[インキ]
一部植物油を含む環境に優しい大豆インキ(大同特色インキ/Daido-CM)
を使用しています。

[紙]
事業活動によって余った紙を使用しています。

■ 本報告書に関するお問い合わせ

2008年5月発行 次回発行は、2009年5月を予定しています。



コミュニケーションには人を動かすチカラがあります。

私たちは、伝えたいことが伝えたい人に
しっかり伝わるコミュニケーションを目指しながら
社業を通して健全な社会の発展に貢献いたします。

報告書概要

■ 環境報告書発行の目的

「環境報告書2007」は、2007年度札幌大同印刷の環境への取り組みと実績や一部の社会性報告を含む取り組みなどを、お客様を始め札幌大同印刷を支えて頂く多くのステークホルダー(利害関係者)の皆さまに情報の開示を図るとともに、従業員の教育資料と用い、継続的な改善に向けての意識の向上と情報の共有を図ることを目的とするものです。

尚、限られた誌面の中で、すべての活動を報告することは出来ませんが、札幌大同印刷の等身大の報告としてご理解を頂ければ幸いです。

■ 対象期間

2007年1月1日～12月31日

※2007年度の活動を中心としましたが、一部の項目については、過去及び現在継続中の物も含まれております。

■ 対象組織

札幌大同印刷株式会社 全事業所

■ 対象範囲

札幌大同印刷株式会社全事業所の環境活動やデータを掲載しております。

札幌大同印刷株式会社の環境情報は、ホームページ内「Ecology Report」でもご覧頂けます。

ホームページ <http://www.dioce.co.jp/daido/>

会社概要

■ 商号 札幌大同印刷株式会社

■ 創立年月日 1954年8月10日 (昭和29年)

■ 代表取締役 本間 翼 (ほんま たすく)

■ 所在地

[本社・製造部]

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条2丁目1番1号

電話 011-897-9711 (代表)

[営業本部]

〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条5丁目2番25号

電話 011-823-6115 (代表)

[企画室dio (ディオ)]

〒064-0807 札幌市中央区南7条西1丁目13番6号

リバーサイド第2弘安ビル4階

電話 011-562-1270 (代表)

■ 従業員数 117名 (2008年4月現在)

■ 資本金 56,950,000円

■ 事業概要

[商業印刷]

・パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ・ポスター

・メニュー・会社案内・社内報・報告書・雑誌・カレンダー など

[デジタル関連]

・Webデザイン・システム開発・データベース構築

・プログラミング など

[その他]

・PR企画立案・マーケティング・ノベルティグッズ

・看板 など

経営理念

札幌大同印刷は、基本的な考え方や活動の方向性を示している経営理念を実践することこそが、社会的責任を果たすことと考えます。

経営理念

私たちは 表現・言論・出版の自由を守り
印刷文化を通して健全な社会の発展に貢献する

私たちは お客様の志向を十分に認識し喜ばれ
信頼される企業を創造する

私たちは 職業人としての誇りと自覚をもって
自己の能力を研鑽し発揮するよう努力する

私たちは 互いの人間性を尊重し幸福の実現を目指す



札幌大同印刷株式会社
代表取締役社長

本間 翼

環境方針

理 念

私たちは健全で美しい地球環境の保全を最重要課題のひとつととらえ、印刷及び印刷関連事業、マルチメディア事業の推進と地球環境保全との調和に努め、地球に優しい事業活動を継続して実践し、豊かな自然環境を将来世代へ引き継ぎ、北海道の企業として快適な地域社会の実現に貢献します。

基本方針

1. 環境マネジメントシステムを確立し運用します。
2. 事業活動全般によって生じる環境への影響を常に認識し、環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を含め、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
3. 事業活動全般にかかわる環境関連の法律、規制、協定等を遵守するとともに、必要に応じて自主基準を定めて、環境保全に努めます。
4. 環境の汚染予防のため、以下の項目を実施します。
 - (1) 事業活動における、電力等のエネルギーの節約を図り、地球温暖化の防止に努めます。
 - (2) 事業活動における、紙の節約及び再生紙の使用とグリーン購入を積極的に行い、環境に配慮した紙・インキ等の使用を、お客様に提案し、森林資源の枯渇を防ぐ等の環境負荷の低減に努めます。
 - (3) 印刷業務において使用される溶剤、薬品等、産業廃棄物として排出される廃インキ・廃液等、及び事業活動において排出される一般廃棄物の分別を削減・リサイクルの推進を図り、限られた資源の有効利用に努めます。
5. 環境方針の理解と環境保全意識の向上を図るため、環境教育と社内広報活動を実施します。また、取引業者、利害関係者にも、当社の環境マネジメントシステムについて理解と協力を求めます。
6. この環境方針は、ポスターや文書などにより、札幌大同印刷で働く、又は組織のために働くすべての人に周知徹底を図ります。また、ホームページなどを通じ、一般の人にも公表し、入手可能な処置をとります。

制定 2003年 3月 1日 改訂 2005年 9月 1日

個人情報保護方針

理 念

大同印刷は、情報化社会において各種のメディア事業活動を営む企業として、個人情報保護の徹底が重要な社会的責務であると認識し、以下の通り個人情報保護方針を定め、個人情報を適正かつ安全管理のもとに取り扱い、お客様への安心の提供及び社会的責任の責務を果たします。

基本方針

1. 大同印刷は、個人情報の取り扱いに関し、「個人情報保護マネジメントシステム-要求事項」(JISQ15001:2006)に準拠した個人情報保護マネジメントシステムを策定し、管理責任者を定め、適切に運用すると共に、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
2. 大同印刷は、個人情報の保護に関する法律及び関連する法令、国が定める指針その他の規範を遵守し、個人情報の保護に努めます。
3. 大同印刷は、個人情報の取得にあたっては利用目的を明確にし、通知または公表し、適正かつ公正な手段によりします。
4. 大同印刷は、個人情報を利用目的の達成に必要な範囲内で利用し、目的外の利用は致しません。また、目的外の利用を防止するための措置を講じます。
5. 大同印刷は、個人情報を第三者に提供するにあたり、あらかじめご本人の同意を得て、適切に行います。
6. 大同印刷は、個人情報への不正なアクセス、個人情報の紛失・漏洩・改ざん・破壊等を予防するため、合理的な安全対策を講じます。これらの問題が生じた場合には、速やかに是正措置を講じます。
7. 大同印刷は、すべての従業員への教育を通して、本方針の周知の徹底ならびに個人情報保護の徹底を図ります。
8. 大同印刷は、個人情報の取り扱いを外部に委託する際は、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、必要かつ適切な監督を行います。
9. 大同印刷は、個人情報の取り扱いに関するご本人からの苦情、相談並びに当該個人情報の開示、訂正、削除、利用または提供の拒否などのご要望をいただいた場合には、適切かつ迅速に対応します。
10. 大同印刷は、この個人情報保護方針をポスターや文書、ホームページ(<http://www.dioce.co.jp/daido/>)などを通じすべての従業員に周知徹底を図るとともに、一般の人にも公表し、入手可能な処置を講じます。

制定 2005年 4月 1日 改訂 2008年 5月 1日

環境目標と実績

環境方針に則り、年度ごとに目標の見直しと設定を行っています。

2007年度実績

環境目的	項目	2007年度目標	2007年度実績	評価
省資源 省エネルギー 防止対策	電力	2004年度比8.1%削減 426,748kw	2004年度比10.5%削減 415,646kw	○
	車両排出ガス(CO2換算)	2002年度比7.9%削減 81,094kg	2002年度比15.8%削減 74,095kg	○
	印刷予備紙率	印刷予備紙率13.00%	印刷予備紙率12.93%	○
	コピー用紙	2004年度比28.8%削減 409,959枚(A4換算)	2004年度比30.7%削減 399,190枚(A4換算)	○
汚染の予防 廃棄物対策	揮発性有機化合物(トルエン)	2005年度比8.5%削減 240.8kg	2005年度比9.3%増加 263.2kg	×
	廃液	2002年度比78.1%削減 3,694kg	2002年度比90.5%削減 1,604kg	○
	廃インキ	2002年度比16.8%削減 1,778kg	2002年度比5.9%増加 2,009kg	×
お客様への環境 配慮印刷物の提案	再生紙の提案	提案受注率7.1%	提案受注率7.8%	○
	大同特色インキの提案	提案受注率37.4%	提案受注率39.6%	○
社会・環境 コミュニケーション	環境情報の公開	環境報告書の発行 web版ecology reportでの発信	環境報告書2006の発行 web版ecology reportから 環境報告書のダウンロード開始	○
	地域社会貢献	地域社会の環境イベントなどに協力 顧客環境保全活動サポート	地域社会の環境イベントなどに参加・協力 顧客環境保全活動サポートの実施	○

環境中期目標

環境目的	2010年度中期目標
省資源・省エネルギー防止対策	電力使用量 2004年度比 -4.8%維持 442,000kw
	全車両 排出ガス50%低減レベル自動車へ100%移行 (参考2007年度69.2%)
	印刷予備紙率 13.00%維持
	コピー用紙 2004年度比 -11.3%維持 453,361枚
汚染の予防・廃棄物対策	揮発性有機化合物(トルエン) 環境対応品への移行
	廃棄物の分別・保管・管理の徹底 産業廃棄物処理委託業者の監視
	製品事故の削減
環境ビジネスの推進	環境に配慮したコミュニケーションツール提案活動の推進 ・大同特色インキ 提案受注率40.0% ・環境にやさしい紙の提案 提案受注率測定中のため未設定 ・顧客の環境保全活動サポート
地域社会・環境コミュニケーション	環境情報の公開 ・環境報告書の発行 ・web版ecology report更新 など
	地域社会ネットワークの参加、市民活動への協力 など

※事業活動において、各事業所の手順による施策の徹底を図る。

環境マネジメントシステム概要

PDCAサイクルを基本に、継続的改善に努めています。



環境教育

環境管理に必要な知識と技能を習得し、環境保全活動の継続的な改善を図るため、全従業員を対象に環境教育を実施しています。

また、部門独自の取り組みと日常活動の意識向上を目的とした部門教育や、環境マネジメントシステムの運用管理をするための専門的な知識や技術の習得により、維持向上を目的とした環境管理スタッフ・内部監査員の専門教育など実施しています。



環境マネジメントシステム監査

札幌大同印刷の環境マネジメントシステムが、ISO14001の規格や法規制の要求事項などを適切に維持管理され、運用が確実に定着しているかを検証するため、内部環境監査を実施しています。

2007年度内部環境監査実施結果

	営業本部	企画室	本社製造部	環境管理責任者 環境管理事務局
観 察	7 件	4 件	5 件	7 件
軽微な不適合	1 件	0 件	0 件	0 件
重大な不適合	0 件	0 件	0 件	0 件
合 計	8 件	4 件	5 件	7 件
推 奨	2 件	1 件	1 件	1 件



記録や面談、現場の従業員インタビューにおいて、着実に環境マネジメントシステムの運用、維持・管理の定着を確認することが出来ました。また、3事業所に分かれてはいるものの、共通の認識と目標に向かう姿勢がより充実度を増していることを確認することが出来ました。

今後は社会的な公器の立場から、予防対策及び再発防止策を実行するとともに、社内外に広くコミュニケーションを図るという方向性を確認しました。



法令順守

事業活動の環境側面に適応される法規制や条例、協定などの逸脱を防ぐため、自主基準の設定や監視・測定などを定期的に行い、環境汚染の防止に努めています。

また、地域住民などのステークホルダーから苦情などを受付、随時対応し、手順を見直し、必要に応じて改善を行っています。

2007年度は法規制などに関する違反及び指摘、苦情はありませんでした。

■ 下記の法規制に順守及び注意を払っています。

- ・水質汚濁防止法 ・下水道法 ・労働安全衛生法 ・PRTR法
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・グリーン購入法 ・フロン破壊法
- ・北海道公害防止条例 ・札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例
- ・札幌市生活環境に関する条例 など

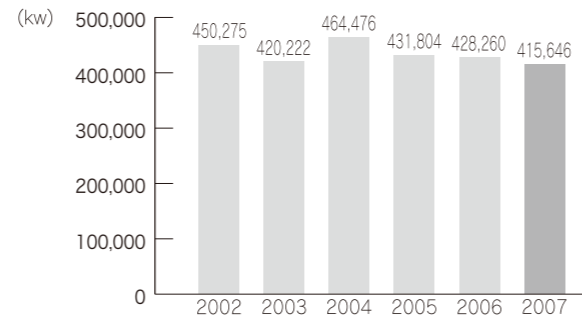
環境方針への主な取り組み

事業活動に伴う環境影響を考慮し、地球環境保全と循環型社会への取り組みを行っています。

電力使用量の削減

2003年に導入したCTPにより、印刷機用のPS版を作成する場合、従来のフィルムを使用せず、コンピュータからPS版に直接データを出力することが出来ることになり、フィルム出力用の自動現像機の使用停止や企画室・本社製造部での作業時間の短縮によって、電力使用量の削減に繋がっており、前年比で2.9%削減することが出来ました。

■ 電力使用量の推移



※CTP(Computer To Plateの略語)

印刷用のPS版を作成する場合、フィルムでは無くコンピュータから直接版にデータを出力する方法。

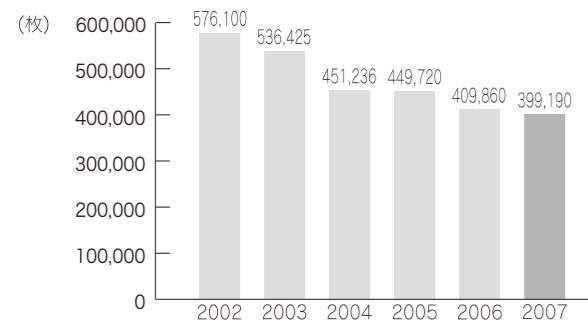
※PS版(Presensitized Plateの略語)

アルミ板に紫外線により感光する感光層を塗布したもので、オフセット印刷の版材として使用される。

コピー用紙の削減

両面出力や裏面の再利用や製本工程時に発生する断裁紙片の再利用などを行い、印刷用紙の有効活用により、資源の投入の削減に努めています。

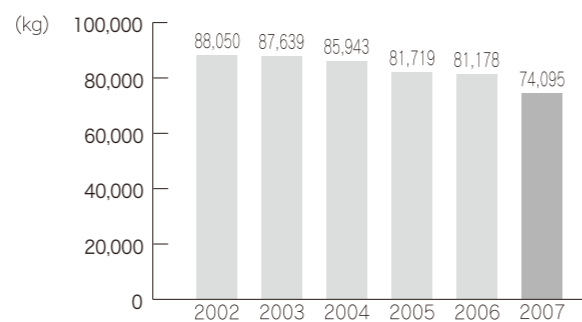
■ コピー用紙使用量の推移 (A4換算)



排出ガス低減レベル車への転換

アイドリングストップ(冬期5分以内)や法定速度遵守の徹底などに取り組むとともに、排出ガス低減レベル車の導入を積極的に行っています。

■ 車両によるCO2排出量の推移 (営業本部)

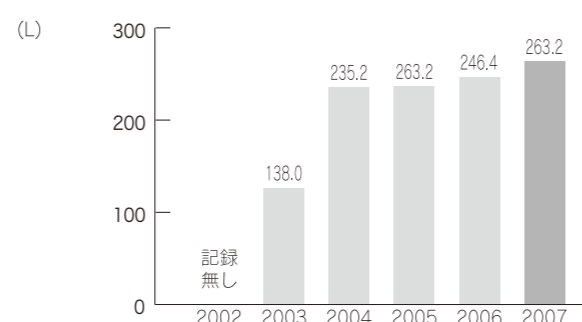


汚染の防止

大気などへの環境影響とともに人体への有害性が懸念されることから、オフセット印刷機に付属するブランケット胴の洗浄用として使用していたジクロロメタンの使用を禁止しました。しかし代替品として使用するトルエンが揮発性有機化合物(VOC)として化学物質の規制対象となることから、使用の制限などに取り組んできましたが、前年比で約7%増加してしまいました。

今後は、業務内容によりトルエンの使用量が左右されることから、日常業務の施策を徹底し、環境対応品への代替を目指し、調査・検証に取り組めます。

■ トルエン使用量の推移 (本社製造部)



※ブランケット胴

オフセット印刷機の胴のうち、印刷圧を生むゴムブランケットを巻いた中間胴の事で、版胴上の画像は一度このブランケット胴に転移され、さらに紙に再転移されます。

※揮発性有機化合物(VOC=Volatile Organic Compounds)

空気中に揮発する有機化合物を指す物。洗浄用や溶剤、燃料として幅広く使用されており、大気や水質などへ放出されると公害や健康障害を引き起こすことから、大気汚染防止法により規制されている。

廃棄物の削減

2007年度の主な廃棄物として、廃インキが前年比に対して約12%増加してしまいました。原因として、在庫インキの増加により保管量が保管施設の許容量を超えるのを防いだ為でした。また廃液(廃酸・廃アルカリ)に関しては、CTPや薬品を投入しない簡易校正機の導入効果により、前年比で約18%削減することが出来ました。

今後は、品質の管理や内部校正の徹底を図るなど、製品事故の削減に取り組むことにより、マニフェスト管理票による監視と廃棄物全体の削減やリサイクルの転換に努めます。

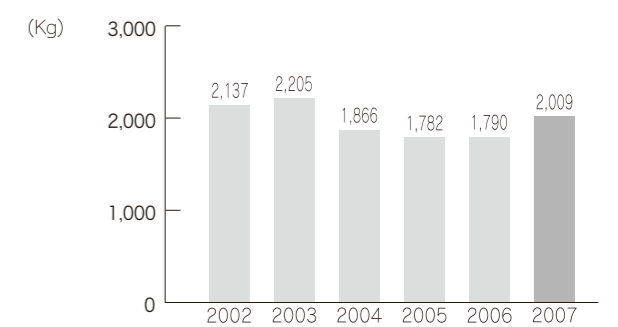
■ 全事業所の廃棄物排出量とフロー

廃棄物名	排出量	リサイクル	焼却	埋立
紙くず	197,590kg	○		
PS版	7,814kg	○		
金属くず	198kg	○		
廃液(廃酸・廃アルカリ)	8,766kg	○	○	
廃プラスチック	104kg		○	○
紙くず(再生不可)	8,420kg		○	
廃油	6,009kg		○	

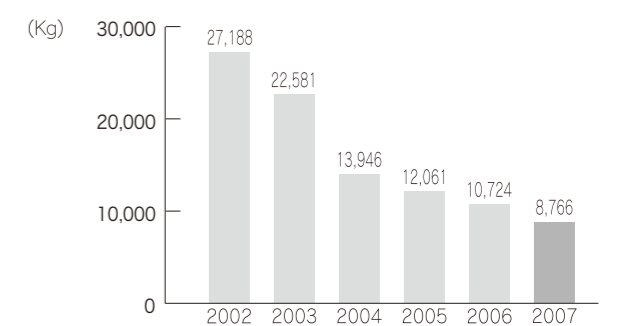
※マニフェスト管理票

産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、最終処分などを委託する場合、排出者が委託者に対して適正な処理が行われた事を確認する管理票。

■ 廃インキ排出量の推移 (本社製造部)



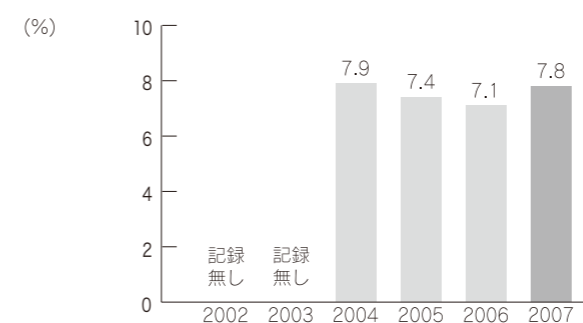
■ 廃液排出量の推移 (企画室・本社製造部)



再生紙の提案

札幌大同印刷は、これまでお客様に再生紙の提案をして参りましたが、古紙配合率偽装問題などにより、再生紙の信頼が大きく失われたことを受け、製紙業界やグリーン購入法の動向を見ながら、今後は再生紙や森林認証紙、北海道産間伐材紙などを含めた幅広い視野を持って、環境にやさしい紙の提案を推進します。

■ 再生紙の提案率の推移



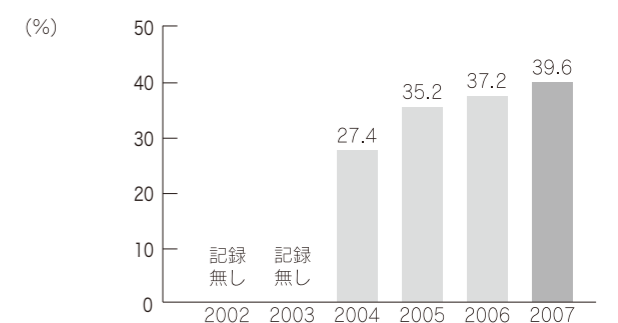
大同特色インキの提案

札幌大同印刷は、営業活動により無駄になるインキを極力減らすため、使用頻度の高い特色インキを選定し、お客様に当社見本帳の中から特色インキをお選び頂く提案を行っています。

お客様への提案を行った結果、前年比で2.4%増加することが出来ました。

微力ではありますが、この提案が環境負荷の低減に繋がることから、引き続き大同特色インキの提案を推進します。

■ 大同特色インキの提案率の推移



環境パートナーシップ

印刷用紙・インキの環境配慮だけでなく、企画・デザインの段階からコミュニケーションツールをお客様と共に考えて作ります。

札幌市円山動物園

さっぽろ円山動物園「どうぶつぬりえ」

～まるやまどうぶつえんのなかまたち～

札幌市円山動物園の実際の動物たちをモデルに、地球や動物たちの未来を考えた絵本風のぬりえを作りました。このぬりえは子供たちに「動物への興味」「環境への気づき」「命の大切さ」を楽しく促すとともに、動物の解説もあり、親子で学ぶことができます。

「どうぶつぬりえ」をお買い求め頂くことで、収益金の一部が札幌市円山動物園の動物たちの食べ物として寄付されます。



※再生紙70%、SOYインキを使用しました。

2007年11月3日(土)紀伊国屋札幌本店にて、「どうぶつぬりえ」の発売を記念し、札幌市環境局円山動物園種の保存担当部長大谷倫子さんを招き、「どうぶつから学ぶ子育て」について、普段聞くことの出来ない動物たちのお話をして頂きました。

約100名の親子が、動物たちの子育てから人間にも通じる親子の愛を学べる講演となりました。



「どうぶつから学ぶ子育て」

2007年12月21日(金)22日(土)札幌市円山動物園展望レストハウスにて、北海道子育てプロジェクトが主催する第3回「Kids Zoo クリスマス」が開催され、子供たちを動物園で育てよう！というテーマに賛同し、イベントの企画の一つ、親子カラーセラピーにおいて「どうぶつぬりえ」のダイジェスト版を提供し好評を頂きました。



[Kids Zoo]

さっぽろキャンドルナイト実行委員会

さっぽろキャンドルナイト2007

～でんきを消して、スローな夜を～

「1年中で一番昼が長い夏至の日、夜8時から10時の2時間、みんなで一斉に電気を消して、スローな夜を過ごそう」という呼び掛けに賛同し、従業員へ残業の抑制や家庭でのキャンドルナイトの実施、イベントへ参加の呼び掛け、キャンドルナイトミーティングへの参加、ホームページでの紹介、お客様や取引先への告知やキャンドルの配布などを行いました。

また、さっぽろキャンドルナイトの広報物は「人と人、人と自然などがつながり広がる。」ことをイメージしながら、チラシやポスター、ホームページなどのコミュニケーションツールを製作しました。



B3ポスター



携帯電話待ち受け画面



ホームページ



キャンドル包装



ポストカード

※広報物には再生紙100%、SOYインキを使用しました。

札幌市環境プラザ（指定管理者 財団法人 札幌市青少年女性活動協会） 環境カレンダー2007～2008

札幌市環境プラザが発行する「環境カレンダー2007～2008」が小学校の進級時期に合わせて、市内の小学校・児童会館を対象に配布されました。

すごろくや間違い探し、ペーパークラフトなど、一年を通して楽しみながら環境問題への理解と興味を促すことが出来るよう企画から関り、環境に配慮したカレンダーの製作をしました。

2007年7月20日(金)には、北九条小学校の児童などを対象に開催された鉄西地区の夏祭りで間違い探しのページが使用され、子供たちから大人までたくさんの参加者に好評をいただきました。



※再生紙100%、SOYインキを使用しました。

札幌市環境プラザ（指定管理者 財団法人 札幌市青少年女性活動協会） さっぽろ環境ポスター展

「地球のために私が出来ること」をテーマに、札幌市内に居住もしくは通学している小学校3～6年生、中学1～3年生を対象に作品を募集し、保護者や教職員の皆さんには子供たちと環境教育を始める、または子供たちが環境への取り組みを身に付けるきっかけになりました。

ポスター展は札幌市内公共施設などを移動しながら展示され、子供たちの環境ポスターが多くの札幌市民に環境問題の意識を促すことが出来ました。

また、個性豊かな子供たちの作品の中から受賞された3作品を、環境に配慮した環境啓発ポスターとして製作し、札幌市内公共施設などに掲示されました。



※ポスターには再生紙100%、SOYインキを使用しました。

<小学3・4年の部>



授賞式



<小学5・6年の部>



<中学生の部>

アースデイ Ezo 2007 実行委員会

Earthday Ezo 2007

～地球のことを考えて行動する日～

アースデイEzoは「ヒトツ」をテーマに、2007年4月19日～6月22日までの約2カ月間の間に開催される北海道各地でのアースデイ企画とつながり、全道で約2万人以上の人たちが参加しました。

2007年4月22日には、札幌大通公園1丁目と札幌市円山動物園をオフィシャル会場とし、約1万5千人の方が参加し、アースデイEzo2007は、市民と企業、行政が連携することで、多くの人たちに環境問題などの意識啓発を行うことが出来ました。

札幌大同印刷は、「北海道でも多くの人が参加するアースデイを」という呼び掛けに賛同し、実行委員・ボランティアとして従業員やその友人・知人を含む19名が参加しました。また環境に配慮したチラシ・ポスターなどの印刷や報告書の製作などに協力しました。

※チラシには北海道産間伐材紙、ポスターや報告書などには再生紙100%、SOYインキを使用しました。



ボランティア活動



報告書



チラシ

社会・環境コミュニケーション

企業市民として、地域社会との共生を目指します。

環境にやさしいまちづくりを考える会 環境・快適くらし展 in 厚別

札幌市厚別区に居住、または企業に勤務する有志が集まり、厚別区を環境にやさしい街にしようと「環境にやさしいまちづくりを考える会」が設立され、厚別区民や厚別区を利用する人たちへの環境意識の啓発活動を実施しています。

2007年9月2日には新さっぽろサンピアザを会場に第3回「環境・快適くらし展in厚別2007」を開催しました。イベントには約250名が参加し、ホテルなどで廃棄される廃ろうそくを利用したキャンドル作りや地球温暖化ふせぎ隊によるエコ体験教室などの体験学習など共に厚別区に隣接する江別市の立命館慶祥高等学校の研修旅行、北広島市でのエルフィンロードの環境活動の発表など、環境を通した3市交流にも取り組みました。

2007年度は北星学園大学などの学生との連携によりキャンドル作成体験を実施。また厚別区のお祭りや厚別区タウントークなどに参加し、厚別区民や近郊の住民、幅広い世代との交流を図ることが出来ました。



ボランティア活動



環境・快適くらし展



厚別区タウントーク

ラブアース・クリーンアップ in 北海道2007 実行委員会 ラブアース・クリーンアップ in 北海道2007

「私たちの北海道を私たちの手で、世界一きれいな場所にしよう」というラブアース・クリーンアップ in 北海道の呼び掛けに賛同し、各事業所周辺のごみ拾いをしました。

参加した従業員は、さまざまなごみの種類があることに驚いたり、街がきれいになることで、清々しい朝のスタートになったなどの声が聞かれました。

参加した従業員は3事業所合わせて57名、ごみの総重量は3.68kgを回収しました。



清掃活動の様子

その他の社会貢献活動

環境報告書展

主催：札幌市環境局

概要：札幌大同印刷環境報告書2006の提供

環境団体アナウンス

主催：札幌市環境プラザ

概要：環境保全活動のパネル展示 / 企業・市民団体との交流会の参加

割りばし回収・リングプル回収・切手回収カレンダーリサイクル市など



環境団体アナウンス交流会

安全・安心な社会と職場を目指して

お客様、従業員など様々なステークホルダーとの信頼関係を築きます。

個人情報保護の取り組み

札幌大同印刷は、お客様への安心の提供および社会の信頼に応えることが企業の社会的使命と考え、2005年個人情報保護方針を制定、2006年プライバシーマークを認証取得しました。

個人情報を保護するために組織的な体制を整備して、様々な観点から取り扱う個人情報を特定し、安全管理対策を講じて、個人情報の適正な取り扱いと保護に取り組んでいます。

また、継続的な取り組みを実践するため、全従業員への教育の実施や日常の点検、内部PMS監査、外部委託先への働きかけなどを行っています。

2007年度において、個人情報の漏洩事故はありませんでした。



個人情報保護の教育

ユニバーサルデザインの推進

ユニバーサルデザインは「出来るだけ多くの人が利用可能であるように、予め配慮したデザインをすること」という考えが基本となっています。

札幌大同印刷は、企業や行政、各種団体などと生活者をつなぐコミュニケーションツール全般を承っていることから、取り組みはまだ初期の段階ではありますが、日本人男性20人に一人、女性50人に一人、日本に約320万人いるといわれている色覚障害者への対応などの必要性を広めるとともに、お客様の用途に合わせた識別のしやすさに取り組み、お客様の最終ユーザーである生活者のご満足を頂くことで、事業活動を通じて社会の安全・安心への提供を目指します。

セクシュアルハラスメント防止の取り組み

セクシュアルハラスメントは、労働者の個人としての尊厳を著しく傷つける社会的に許されない行為であるとともに、労働者の有効な能力の発揮を妨げ、会社にとっても職場秩序や業務の遂行を阻害し、社会的評価に大きく影響を与える問題として、札幌大同印刷は男女雇用機会均等法および札幌市男女共同参画推進条例に基づき「職場のセクシュアルハラスメントの防止のために」を制定し、正しい知識の理解と快適な職場を作るために全従業員を対象に教育を行いました。

また、一人で問題を抱えることのないようにプライバシーを守り、広く相談に対応するため各事業所毎に相談窓口を設け、従業員の相談に対処します。

トピックス

私たちの取り組みが評価されました

環境省のプロジェクトとして、財団法人北海道環境財団との協働運営による、北海道環境パートナーシップオフィス(EPO北海道)の北海道内におけるCSRに基づく事業者の社会貢献、環境保全活動調査結果から、お客様へ再生紙及びインキの削減(大同特色インキ)の提案、環境報告書の発行、木を植えるカレンダーなどの環境配慮事例及び社会貢献活動が評価され、環境省が発行する「意向・現状調査報告書」にて環境・CSR優良事例企業として紹介されました。

※「意向・現状調査報告書」は、EPO北海道が運営するホームページ「北のCSR」の中でも紹介されています。

北海道環境パートナーシップオフィス(EPO北海道)
ホームページ「北のCSR」 URL: <http://www.epohok.jp/hcsr>

